ベガステップBK（平板瓦用片流れ換気棟）

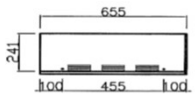
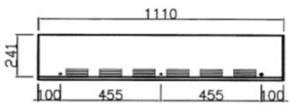
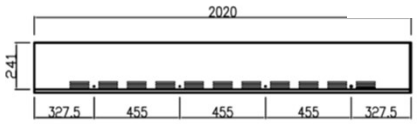
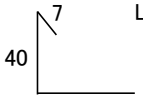
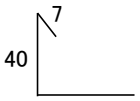
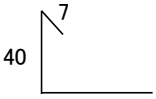
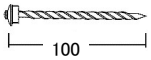
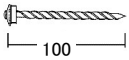
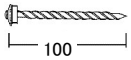
平板瓦用 自然換気棟

《施工マニュアル》

産業技術研究所防水性能試験
29産総常窯 第2-46号
103

☆仕様

材質：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑｶﾗｰ鋼板　　標準色：ﾌﾞﾗｯｸ、ｳｯﾃﾞｨｰﾌﾞﾗｳﾝ、ｸﾞﾘｰﾝ　　梱包：1ケース1本入り

品番	YY4001BK　1.5尺タイプ	YY4002BK　3尺タイプ	YY4003BK　6尺タイプ
換気棟本体			
捨水切			
ステンレスコーススレッド	 X3本（1本予備）	 X4本（1本予備）	 X5本（1本予備）
野地板開口寸法	W＝20 L＝450	W＝20 L＝900	W＝20 L＝1800
有効開口面積	54cm²／本	108cm²／本	198cm²／本

■ 換気口は天井面積の 1／1，600 吸気口は天井面積の 1／900 を 設計基準として設置本数を決定します。
（住宅金融支援機構の小屋裏換気基準）

※施工上のご注意及び本製品使用地域について

- 換気棟以外の施工要領については屋根材の施工説明書を参考に工事してください。
- 換気棟を踏みつけたり座ったりしないでください。破損や変形により雨漏り等の原因となります。
- 換気棟を切断しないでください。割付や長さ調整は片流れ棟包で行ってください。
- 換気棟は分解しないでください。組み直したり改造はズレ等で雨漏りの原因となります。
- 屋根勾配を3寸～6寸勾配の範囲でご使用ください。
- 平板瓦屋根のみ使用できます。
- 積雪30cm以下にて使用してください。
- 木下地や換気部材を施工する時は、あらかじめドリルで下穴（3mm）を開けて屋根材が割れるのを防止してください。

又、下記の条件下においては、使用鋼板の耐食性を著しく低下させ、錆の発生及び促進させる可能性がありますので、ご使用時にはご注意願います。

- 塩害・亜硫酸ガス・コンクリート・モルタル等アルカリ性物質などの影響がある場合。
- 銅・鉛・合金類等、異種金属を使用した取付金具・付属物との接合がある場合（電食による腐食発生）。
- 銅・鉛等の物質を含有した薬剤処理物（銅系防蟻処理木材など）との長期接触があった場合。
- シンナーなど有機系溶剤が付着した場合。
- 湖沼・河川・沿岸部などの周辺で常に水しぶきを浴びたり、雨露などで水分に接している場合や吸湿物との常時接触及び接合している場合（濡れたままの状態）。

施工基準

- 設計者と十分お打合せの上ご使用ください。
- 施工前に部品、開口部の位置を十分ご確認ください。
- 施工は、必ず専門業者が行ってください。

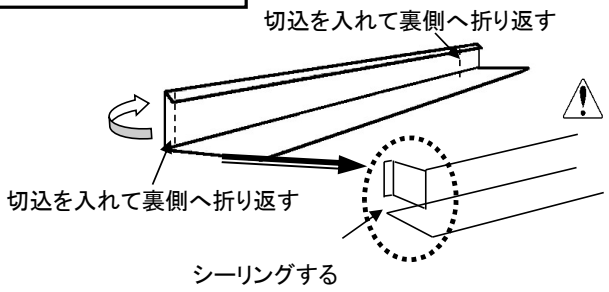
hauseco
株式会社ハウゼコ
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル6F
T 06-4963-8266 F 06-4963-8267

☆施工手順

1. 開口部を開ける

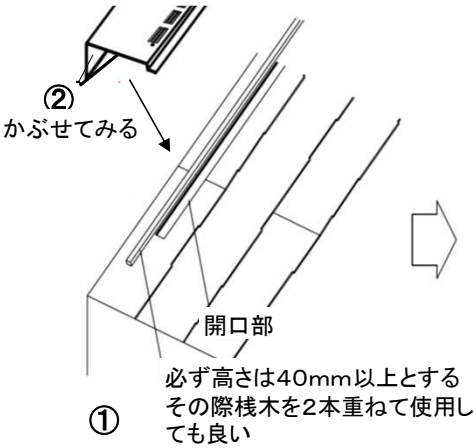
①屋根下地に上端部より約80mm～90mmの位置に
開口部をあけてください。
この寸法は3寸～6寸勾配の時の目安で、建物の構造、
屋根勾配により異なります。

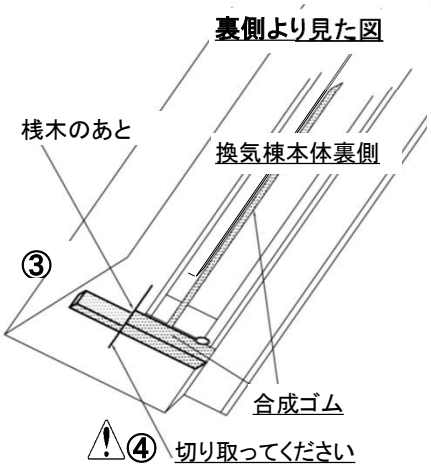
2. 捨水切の加工・取り付ける

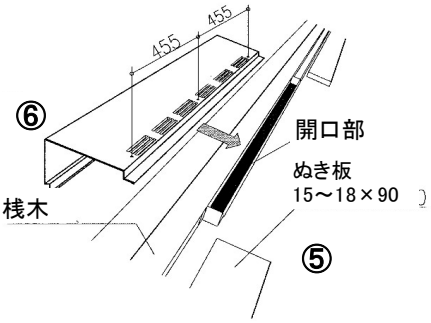


①捨水切を開口部に合わせて、両端を切り込みを入れて上記図のように
折り曲げてください。
②開口部に被せて十分にシーリングしてください。
③捨水切の捨ての部分に釘又はビスで固定してください。

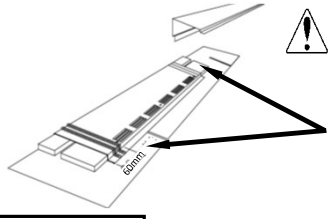
3. 換気棟を取り付ける







①開口部の上部に**高さ40mm以上、巾30mm以上**の桟木を取り付けてください。桟木を2本重ねていただいても結構です。
②片流れ換気棟を開口部の上に被せてください(仮置き)
③本体をひっくり返して、合成ｺﾞﾑ(EPDM発泡ﾃｰﾌﾟ)に桟木の跡が付いていたら、桟木の上にきちんと被さっている状態です。
④合成ゴムが桟木に重なる部分をカッターナイフ等で切り取ってください。
⑤ぬき板は(15～18×90)を使用してください。また、**屋根材の施工マニュアルに従ってぬき板の下に防水シーラー等を施工してください。**
⑥換気棟は開口部の中央に合わせて付属の取り付けビス(ステンレスコーススレッド)で取り付けてください。
⑦屋根材の意匠により換気棟が付く部分に大きな凹凸がある場合は**本体取り付けビスより少し水上側に防水シーラーを別途施工ください。**
⑧最上段が1枚物の場合、本体との通気部分を阻害する恐れがあります。換気棟がつく部分の防水堤は11mm未満に削ってください。



重ね部に著しく隙間がないか確認してください。

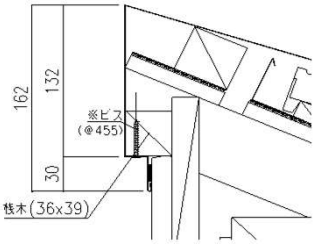
又　重ね代は60mm取り、重ね部には図の様に必ず
シーリング2本してください。

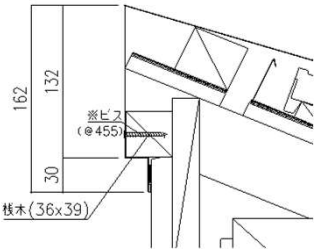
※換気部材の連続使用の場合、
開口部と開口部の間は150mm離してください。

4. 換気棟と桟木は必ずビスで留める

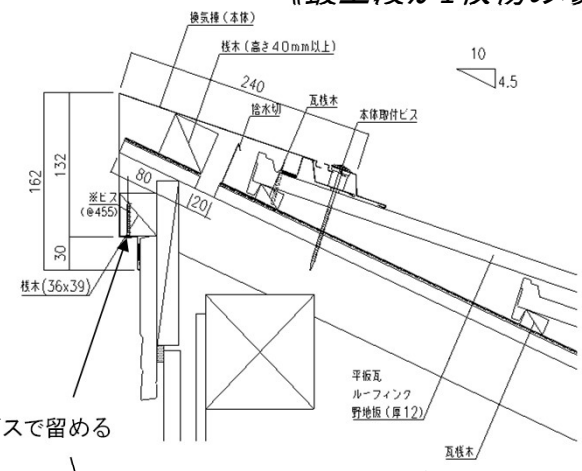
①換気棟と、外壁材に取り付けた桟木(36×39)は、必ずビスで留める。
この時、推奨施工としては下から留める。(納まり例1参照)
②下からのビス留めが難しい場合は、横から留める。(納まり例2参照)
横から留める場合は換気棟の波打ちに注意する。

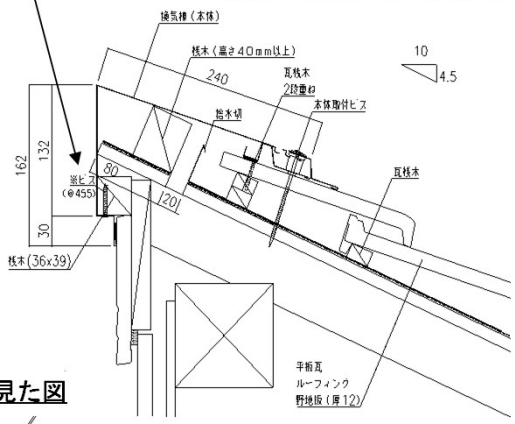
・下から留める場合(納まり例1)　・横から留める場合(納まり例2)





《最上段が1枚物の場合》



ビスで留める

《最上段が半端物の場合》